

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
家計 動向 関連	良くなっている	-	-	-	
	やや良くなっている	一般小売店〔書籍〕（営業担当）	単価の動き	・8,000円を超える高額コンサートチケットの売行きが非常に良くなっている。	
		百貨店（営業担当）	単価の動き	・顧客は高額商品をかかり慎重に選んでいたが、先月くらいから徐々に動き始めている。	
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・環境対応車への優遇税制及び新車購入補助金により、販売量は急激に回復傾向にある。7月の当社の軽自動車販売は前年比107%になる見込みである。	
		乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・環境対応車への優遇税制及び新車購入補助金により、景気が良くなってきている。車の販売も3か月前と比べ伸びている。	
		その他専門店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・お中元時期であり、売上が上昇している。	
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・3月、4月ごろより、消費のマインドが少し戻りつつある。	
		通信会社（企画）	お客様の様子	・ケーブルテレビ事業では、月額3,000円を超える多チャンネル商品への関心が徐々に高くなってきている。有料チャンネルの問い合わせも若干増えている。	
		観光名所（職員）	来客数の動き	・高速道路料金引下げの効果で来客数が少し伸びている。	
		美容室（経営者）	来客数の動き	・梅雨や暑さの影響か、先月は客数が少なかった分、今月は多かった。	
	変わらない		商店街（代表者）	来客数の動き	・来客数が少しずつ戻っているが、売上にはあまり影響していない。
			一般小売店〔酒類〕（経営者）	販売量の動き	・お中元の受注件数が前年より低い数字で推移している。
			スーパー（財務担当）	来客数の動き	・梅雨明けが遅く、長雨が続きたいせいで、来店客数が減少し、同時に売上も減少した。ボーナスの減少も影響している。
			衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・今月は月初の第1土曜日より、バーゲンを開始し、第3週には更にその一部の商品を値下げするクリアランスセールをした。前半は好調で、前年の数字をクリアしたが、第3週の月曜日以降、雨模様の天候のため売上が大きく減少し、7月全体では前年並みとなった。
			衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・7月の夏物バーゲンセールは、客がセール慣れしてきており、再値下げしても売上が伸びない。むしろ、今すぐ着られるセール以外の正価品が良く動いている。全体としては前年割れで推移している。
			家電量販店（営業担当）	販売量の動き	・今月は、宣伝効果でテレビが持ち直してきている。反面、エアコン・冷蔵庫・洗濯機といった季節的に主力になるはずの商品が思ったより伸びず、「壊れたから買う」という客が多くなっている。
			乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・エコカー減税は続くものの、補助金は今年度中に終了予定であり、販売量は伸び悩んでいる。ハイブリッド以外の車は、相変わらず不振である。
			乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・販売量は、環境対応車への優遇税制等をフルに使って現状維持である。
			観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・客の様子は多少良くなってきたが、宿泊客は増えない。新型インフルエンザの影響もあり、国内旅行は冷え込んでいる。
		旅行代理店（支店長）	単価の動き	・夏休みに入り、個人旅行の申込件数は増えてきたが、国内旅行は「安い・近い・短い」の傾向が強く、旅行費用の平均単価は低い。一方、海外旅行は申込件数は多くはないものの、燃油サーチャージ低下の影響もあり、比較的単価の高いハワイやヨーロッパ方面など遠方の申込が多い。	
		タクシー運転手	販売量の動き	・夏休みに入ったが、梅雨明けも遅れ、高校野球の順延もあり、利用客も少ない。	
		タクシー運転手	お客様の様子	・客の様子、売上高共に良くない状況が続いている。	

	通信会社（支店長）	来客数の動き	・携帯電話を販売している営業窓口への来客数は、前月とほぼ変わらない。価格等の理由で購入を見合わせる傾向が依然として根強い。
	通信会社（管理担当）	販売量の動き	・携帯電話の単価はやや下落傾向にあり、来客数の減少傾向も続いている。
	観光名所（経営者）	来客数の動き	・高速道路料金引下げはレジャー産業全体ではプラスであるが、当地においては、高速道路料金に比べ、フェリー料金が非常に高いと客が感じており、島にある当施設は、引下げ以降、毎月、前年比10%以上マイナスになっている。
	ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・来場者及び予約の状況から見ると、ここ2、3か月はそれほど変わりが無い。
	設計事務所（職員）	競争相手の様子	・低価格競争が恒常化している中、大手企業も低価格競争に参入しており、先が読めない状況が続いている。仕事はあっても、利益が上がらない赤字受注も顕在化してきた。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	単価の動き	・来客数はそこそこあるが、客単価がかなり落ちている。
	一般小売店〔乾物〕（店員）	販売量の動き	・お中元の時期であるが、毎年のように売上は下落している。お中元・お歳暮の売上は大きいので、影響も大きい。
	百貨店（営業担当）	それ以外	・前年同月に比べ売上、来客数共に下回った。呉服・ラグジュアリー商品・ファッション高感度商品が苦戦し、今月は特に紳士関連商品の苦戦が目立った。また、中元商戦は前年比微減で推移し、クリアランス商品も前年を下回った。
	スーパー（店長）	それ以外	・例年に比べ雨が非常に多く、ジュース、酒、ビール、アイスクリームなどが全く売れない。また、競合店も苦しいのか、スタンプサービス実施日が増え、その影響も受けている。
	スーパー（店長）	単価の動き	・6月、7月のボーナスシーズンを境に、買物単価が急激に下落した。
	スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数が減少している。特に平日の客数が減っている。
	スーパー（企画担当）	来客数の動き	・プライベートブランドや特価品には反応を示すが、セールをしない営業日では客数が少しずつ減ってきている。
	コンビニ（総務）	来客数の動き	・3か月連続で客数が前年割れしている。6月に若干回復していたが、7月に入り天候不順や夏季賞与カットの影響などで、再び悪化している。
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新発売のハイブリッド車は、新車購入助成金の対象期間に納期が間に合わないおそれができたこともあってか、購入を慎重に検討する客が増えた。
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・6月末から既存店の来客数が減ってきた。
	都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・例年、夏休みに入ると客の動きが良くなるが、今年は宿泊客の動きが全くない。レストランも同様であり、一般の人が消費にお金を回すところまで景気は戻っていない気がする。
	タクシー運転手	来客数の動き	・梅雨がいつまでも続いて、それほど暑くもないので、乗客が少ない。昼以上に夜の乗客が少なく、遠距離乗車の客が減っており、売上は上昇していない。
	競艇場（職員）	販売量の動き	・G1レースが開催されたにもかかわらず、1か月通じての1日平均場内売上は3か月前と比べ若干減少した。G1レース単体でも前年比で若干減少した。しかし、電話投票を含む総売上では増加した。
悪くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・客数、単価いずれも悪くなっている。
	一般小売店〔酒〕（販売担当）	販売量の動き	・お中元との2本柱である夏祭り関連の販売が極端に悪い。夏祭りへの参加を取り止めた企業も多く、以前は景気の悪い時こそ盛大にとの風潮もあったが、今年は過去の経験則が全く通用しない。
	スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数の減少もあるが、単価の低い物しか買わないという状況になっている。
	美容室（経営者）	来客数の動き	・前年同月と比べ来客数がかかり減少している。
企業動向	良くなっている	-	-

関連	やや良くなっている	木材木製品製造業（経営者）	取引先の様子	・4月、5月と比べ販売量、生産量共に上昇したが、前年比では、相変わらず20%くらいの落ち込みが続いている。
		輸送業（社員）	取引先の様子	・製紙会社や製造会社の製造数量が徐々にではあるが回復基調になっており、それに伴う出荷オーダーも若干増加傾向になっている。
		通信業（営業担当）	それ以外	・政府の経済対策の効果が出始めたのか、個人消費に関して、良いニュースを聞く機会が増えて来た。エコポイントを使ってエアコンを買い換えたとか、エコカー減税を利用して車を乗り換えたなどの話題が身近で聞こえてくるようになった。
		広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	・仕事が無くて機械が回っていない、という声が少なくなった。
	変わらない	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・一部の大手ユーザーとの商談が出始めてきたが、他社との競合は熾烈になっており、底値を探る安値競争となっている。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共事業・民間工事共、受注が非常に難しくなっている。
		建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・公共工事では、公立学校の耐震工事がまとまった件数で発注されることになったが、競争が激しく、相当な低価格でないと落札できない状態であり、収益面では依然として厳しい。
		輸送業（統括）	取引先の様子	・製造業等の出荷荷物が前年に比べ大幅に減少している。
		通信業（部長）	受注量や販売量の動き	・携帯電話の新商品発売直後であるが、総じて慎重な購買が続いている。価格面からも低価格商品への期待が依然として強いことから、コストメリットを見出せない限り慎重な姿勢は継続するものと考えられる。
		広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	・大型ショッピングセンターの1周年記念販促広告の特需はあったが、他の得意先の広告費削減により最終的にはあまり変わらない。
公認会計士		取引先の様子	・顧問先の決算及び試算表の状況をみると、前年比あるいは前月比売上がマイナスの企業が増えており、景気は足踏み状態に入ったのではないかと考えている。	
やや悪くなっている	繊維工業（経営者）	競争相手の様子	・百貨店、量販店での売上が低迷しており、業界全体でも厳しい状況である。	
	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・単価が下落傾向にあり、荷動きも悪く、売上は下向きである。	
悪くなっている	-	-	-	
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	-	-	-
	変わらない	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・車のディーラー、不動産業、建設業共に広告出稿は低迷している。かろうじて病院は健闘している。
	やや悪くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・4月以降、企業の中途求人ニーズは更に減少している。求人サイトへの掲載件数は前年比50%以下となっている。新卒も全国的に内定率50%程度と低迷しており、県内でも同様の傾向になっている。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・会社都合離職者は、44歳以下では男性が43%増、女性が66%増となり、リストラが一巡した中高年齢者よりも高くなった。個人や小規模事業所の廃業や廃止が続いており、求職者増加の要因となっている。
		職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・生産調整を実施する企業が、主たる企業から周辺企業へと拡大し始めた。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数の減少と新規求職者の増加傾向が相変わらず続いている。
	学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・大学に送られてくる求人数や求人件数が、前年同時期と比べてやや少ない。	
	悪くなっている	-	-	-